東京都世田谷区砧町三二六
日本野鳥の会
中西悟堂
電話砧(細)二三二七番

昭和40年5月1日

そちらへ送りしました拙詩のうち、
別紙のように、その後直しましたので、
校正の折、拙稿、別紙赤訂正の通
りお直し頂ければ幸です。
右ゐ急ぎ御報いまで。

四〇、五月一日

中西悟堂

安部宙之介様

涙なき斜角

この険しい斜角を墮ちゆく像は
地平の四方から、木と水の喜悦から
脱け出てきた、うしろむきの人間たちの
世紀の垢だったのか。

この灰白の斜角を墮ちゆく血は
すべて酸性の星たち
漂白され□着色された
命らの剥製であったのか。

ニュートンのすかめ ルビ
林檎は饐え□魚臭爛れ
ただ ルビ
どこからどこまで□眇目の心臓たちの